

平成 19 年 8 月 29 日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

環境マネジメントの国際規格「ISO14001」認証の取得について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 上原治也）は、平成 19 年 8 月 23 日付で、本店ビル（東京都千代田区丸の内 1-4-5）における信託・銀行業務に係わる事業活動について、環境マネジメントの国際規格である「ISO14001」の認証を信託銀行として初めて取得し、本日、登録証が交付されましたのでお知らせします。

三菱UFJ信託銀行は、「地球環境の保全を経営の最重要課題の一つとして認識し、良き企業市民として、地球温暖化の防止および循環型社会の実現に積極的に取り組むとともに、信託銀行としての機能を最大限に活用し、企業および個人の環境保全活動をサポートしていく」という「環境理念」のもと、新たに「環境方針」を制定し、今般の「ISO14001」の認証取得により検証された環境マネジメントシステムを構築し、環境保全の取り組みを推進してまいります（別紙ご参照）。

以上

【ご参考】「ISO14001」について

「ISO14001」は環境マネジメントシステム（環境に配慮した経営を実現する仕組み）に関する要求事項を示した規格であり、対象組織が環境に配慮した経営を、世界共通の規格に基づいて行うもの。規格の目的は、環境マネジメントシステムの継続的改善を通じて、環境負荷と環境リスクの低減を図ること。規格の認証を取得しようとする組織は、同組織の環境マネジメントシステムの ISO14001 規格との適合性と同システムの適切な実施・運用・管理について、第三者審査登録機関の審査を受ける。

1. 本業を通じた取り組み

- (1) 国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP-FI）と共催の責任投資セミナーの開催による環境・社会・企業統治（ESG）概念の啓発、社会的責任投資ファンド（SRI ファンド）の普及促進
- (2) 風力発電等の再生可能エネルギー事業や廃棄物処理に係るリサイクル事業などの環境関連事業への支援
- (3) 不動産担保の土壌汚染の調査をはじめとした環境リスクを考慮した債権管理の実施
- (4) 「野鳥と緑の信託」「さいたま緑のトラスト」等の環境関連商品の取扱い
- (5) 「排出権信託商品」を開発

2. 当社としての環境負荷低減の取り組み

- (1) 本店ビルにおける温室効果ガス排出量の理論上の相殺（カーボン・ニュートラル）を目的として、クリーン開発メカニズム（CDM*）により組成された排出権の取得。

*クリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism）：先進国と途上国が共同で事業を実施し、その温室効果ガスの排出削減分を先進国（事業の投資国）が自国の目標達成に活用できる制度

- (2) ハイブリッドカーをはじめとしたエコカーを営業車として採用、平成 21 年 3 月末までに全本支店の営業車を順次切替え
- (3) お客様に配布する粗品にエコマーク等の基準を採用
- (4) 文具・オフィス用品等のグリーン購入の実施
- (5) 廃棄物のリサイクル、コピー用紙使用量の削減、電気使用量の削減等による、オフィスワークに伴う環境負荷の低減

（ユニークな取り組み）

部署ごとにオフィスワークに伴う環境負荷低減の結果を評価し、社員は部署の成績に応じたシールを個人のパソコン等に貼付

青シール：やったぜ！エコ優等生

黄シール：あと一歩！エコ優等生

赤シール：がんばれ！もっとエコ活動



- (6) お客様および全役職員に対する環境啓発絵本「ピーターラビットとおんだんかのおはなし」の配布

以上